

# 減災に係る取組方針のフォローアップについて

平成28年11月22日

京浜河川災害情報協議会  
相模川大規模氾濫に関する減災対策専門部会

〔 平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、大磯町、  
神奈川県、横浜地方気象台、京浜河川事務所 〕

# 1) 水防災意識社会 再構築ビジョン (取組方針の概要)

■ 専門部会では、相模川の流域の特性や現状を踏まえ、平成32年度までに、沿川自治体間が連携した円滑かつ迅速な避難、効果的な水防活動、排水活動等、大規模氾濫時の減災対策として、一体的・計画的に取り組む事項について検討、とりまとめを行った。

## 1) ハード対策の主な取組

■ 洪水を河川内で安全に流す対策 ■ 危機管理型ハード対策 ■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

## 2) ソフト対策の主な取組

### (1) 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

#### ■ 情報伝達、避難計画等に関する取組

- ・ 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表等
- ・ 広域避難計画の作成及び都市部における垂直避難の検討等、並びに洪水ハザードマップ・まるごとまちごとハザードマップ作成等
- ・ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び、首長等も参加した実践的な訓練の実施

#### ■ 防災教育や防災知識の普及

- ・ 水防災意識社会の再構築のための説明会・講習会の開催
- ・ 学校教育現場における水防災教育の実施など

### (2) 洪水氾濫被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

#### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組

- ・ 水防団等や地域住民が参加する重要水防箇所等の共同点検、関係機関が連携した水防訓練の実施

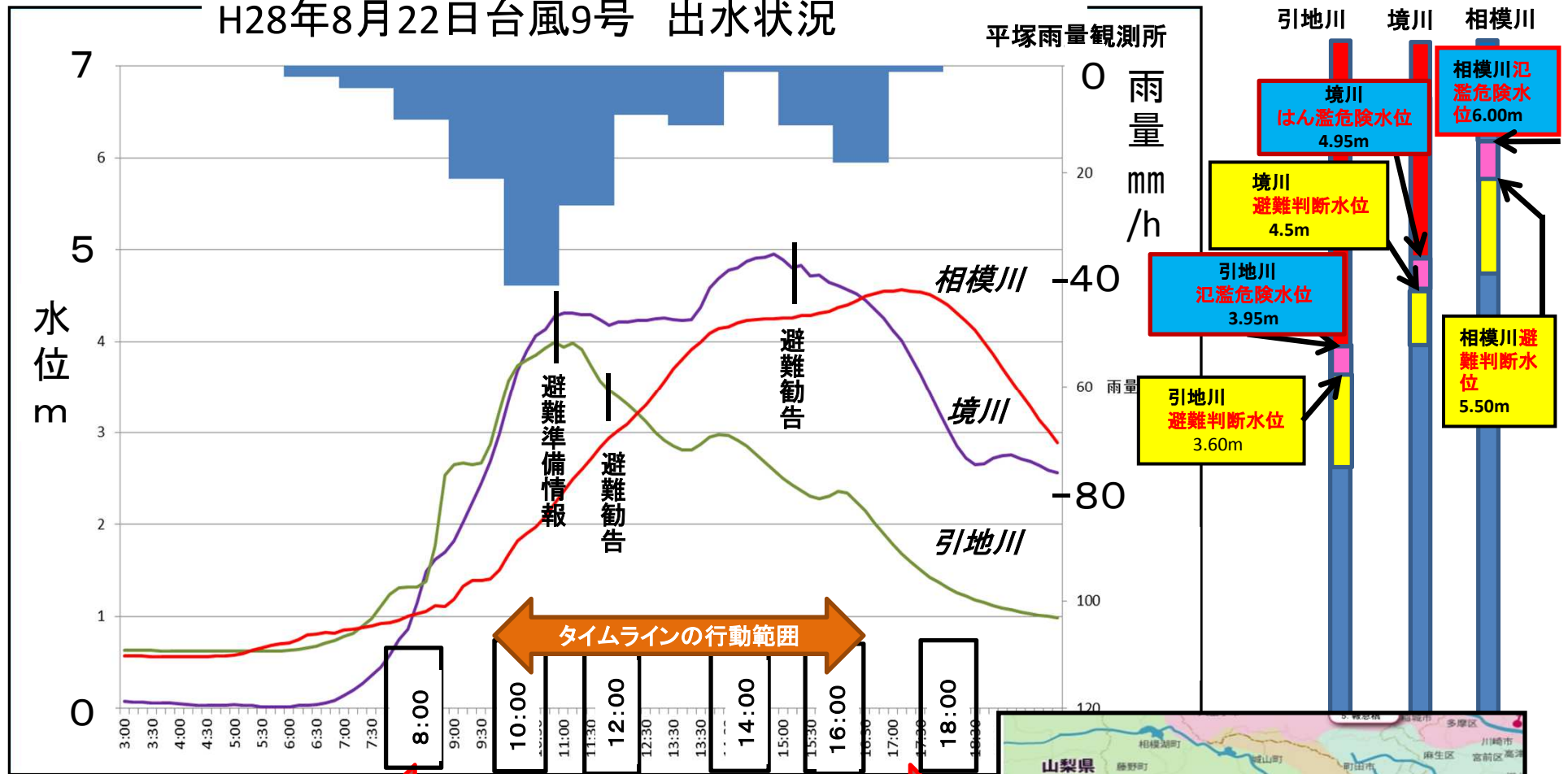
### (3) 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組

#### ■ 排水活動及び施設運用の強化に関する取組

- ・ 大規模水害を想定した排水計画(案)の作成及び、排水訓練の実施

## 2) 今年(8月台風9号)の出水対応等 (事例)

H28年8月22日台風9号 出水状況



出水対応が短時間に集中

＜水位＞  
■ 複数河川の増水が概ね同時に発生。

＜課題＞  
■ 関係機関との出水時の対応等が短時間に集中  
■ 氾濫危険水位等による避難勧告等の発令のタイミング

■ 複数河川の出水特性等より  
→ 関係機関との連携・迅速な対応による情報伝達訓練等が重要



## 2) - 2 今年(8月台風9号)の出水対応等

### タイムライン(案)に取り込むことが望ましい項目

訓練計画(案):  
対応のタイミング

① 複数河川(国・県管理)による避難判断水位、氾濫危険水位等 **警報水位の洪水予報文**及び、避難準備情報、避難勧告等の **避難に関わる情報伝達が錯綜**する恐れがある。

A 情報伝達

② 複数河川の **水位上昇時**による **ホットラインの情報**及び、**タイミング**が重要となる。

B ホットライン

③ 集中豪雨等、**急激な水位上昇時**における対象地域への **避難勧告等の発令に時間**を要する。

C 避難勧告等

④ 対象市区町の見直しに伴う **出水時の情報伝達システムと情報の共有**等が必要である。

A 情報伝達

⑤ 避難情報等の発信にあたり河川の外水氾濫による情報伝達とともに、**内水氾濫に対する情報伝達が重要**である。

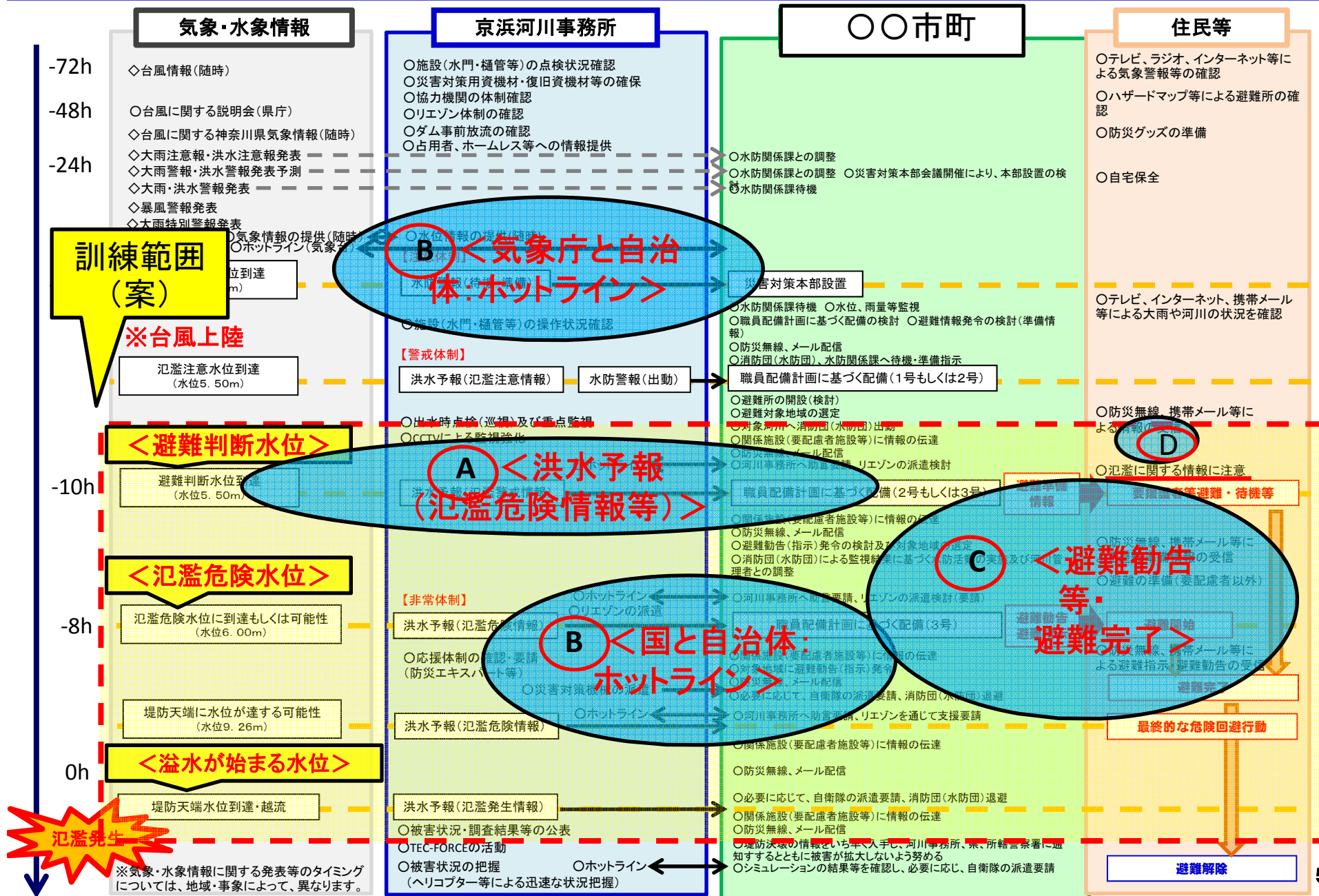
D 内水氾濫の情報伝達

⑥ 住民等に伝える「**避難準備情報**」や「**避難勧告**」の言葉が分かり難い。

E 水防災説明会等

# 3) タイムライン(案)に基づく訓練計画(案)

(台風の上陸等に伴う洪水を対象とした避難勧告の発令等に着目した**タイムライン(案)**)



# ■鬼怒川(茨城県内)の事例(鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会)

## 平成28年度 水防災意識強化週間(9月3日~10日)の取り組み

住民一人ひとりが、平成27年関東・東北豪雨を風化させず、常に水防災を意識する社会を構築するよう、9月3日~10日を「水防災意識強化週間」と定め、国・県・市町・建設業界が連携して集中的にソフト対策を推進しました。

### 洪水時情報伝達演習(常総市内)

資料3

流域・沿川の防災力向上に向けた取り組み

関係機関の連携強化

【概要】:関係機関における洪水時の的確な情報伝達を習熟するため、常総市において洪水時情報伝達演習を実施。  
・常総市、茨城県、国土交通省下館河川事務所等が、タイムラインにおいて連携する項目を中心に机上形式で演習。  
・大規模な洪水が鬼怒川で発生した場合に、常総市内の浸水する危険性の高い地域にある携帯電話やスマートフォンに対して洪水情報を配信する「緊急速報メール」(当日から配信開始)の配信訓練も実施。

【実施日時】:平成28年9月5日(月) 9:30~11:00

【実施箇所】:きぬ総合公園 水海道総合体育館

【参加者数】:総参加者 98名(演習実施者 45名、視察者 33名、事務局その他 20名)



会場の様子



緊急速報メールの着信

※当日はマスコミ14社(26名)が参加

### 演習の成果

- ・それぞれの関係機関において、「いつ」、「誰が」、「何をするのか」といった情報伝達の流れが再確認できました。
- ・緊急速報メールの配信訓練は、地域にお住まいの方に水防災を意識していただくきっかけにもなりました。

# ■一同参集型による情報伝達訓練(概要)

## ■タイムラインによる情報伝達訓練(案)について

実施日:平成29年4月頃 2時間程度

実施場所:同一会場に集まり実施

参加自治体:複数自治体による同時進行訓練を想定

目的:関係機関との連携強化・迅速な情報伝達の実施

訓練方法:幾つかの河川水位の状況に応じた伝達シミュレーションの実施

訓練内容は、幹事会により検討

訓練内容等:  
幹事会検討

### ①相模川・神川橋水位観測所<避難判断水位に到達>

訓練内容(案):洪水予報の伝達及びホットライン、要支援者施設への洪水予報の伝達,リエゾンの派遣検討  
避難準備情報の発令,避難勧告の検討,避難広報活動 など

➤ 水防法に基づき、基準水位に到達するおそれがある場合など、水位の状況に応じて、国土交通省と気象庁は共同で指定河川洪水予報を実施

### ②神川橋水位観測所<氾濫危険水位に到達>

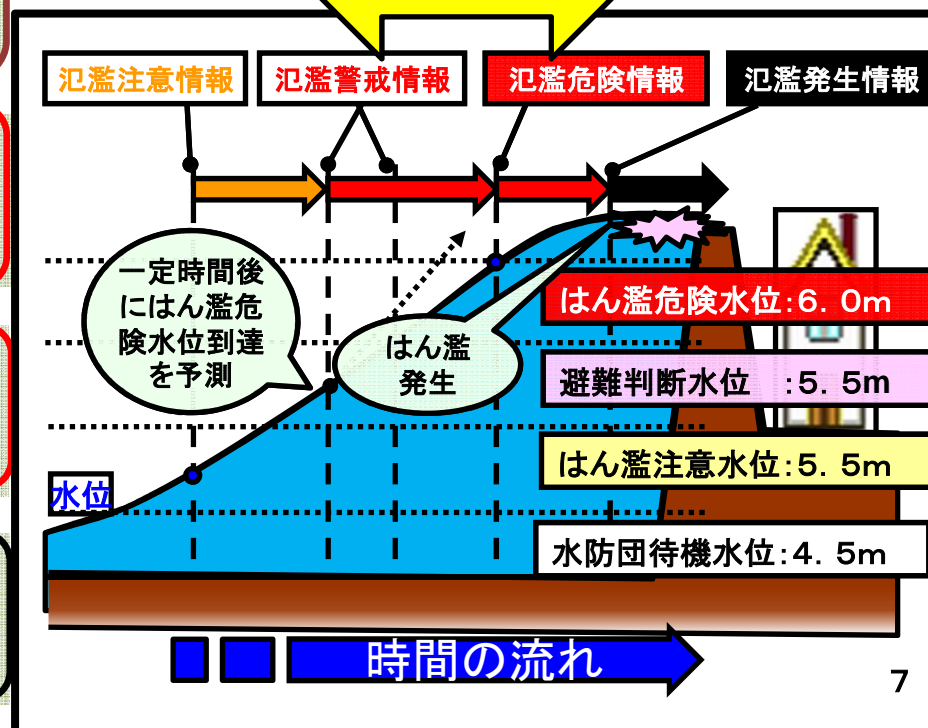
訓練内容(案):洪水予報の伝達及びホットライン、リエゾンの派遣検討,避難勧告・避難指示の発令,避難広報活動など

### ③相模川の水位は更に上昇<溢水が発生>

訓練内容(案):洪水予報の伝達及びホットライン,溢水の報告  
避難広報活動,リエゾンの派遣検討,水防活動の報告 など

### ④相模川の水位は更に上昇<越水が発生>

訓練内容(案):ホットライン,越水の報告  
浸水域の確認,水防団の退避の検討 など



## 4) 今後のスケジュール

- ・第3回幹事会の開催 (H29.1月目途)  
情報伝達訓練(案)について
- ・取組状況のアンケート調査について (H29.2月目途)
- ・出水時情報伝達訓練(案) (H29.4月目途)
- ・平成29年度、減災対策専門部会の開催 (H29.5月目途)  
他の専門部会への訓練結果の報告と情報の共有を行い、取組方針に基づき継続的なフォローアップを図っていく。